

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>概ね学校は、保護者や地域の実態、ニーズを踏まえて学校教育目標や教育方針を設定していると評価されている。</p>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <p>今後とも保護者や地域と連携し、児童の実態を踏まえた教育方針等について家庭・地域に説明していく。</p>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>数字の増減にとらわれる必要はないが、昨年度と比較すると、教職員の「そう思う」が20ポイント低下しているので、検証の必要がある。</p>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>50%</td></tr> <tr><td>②</td><td>45%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	50%	②	45%	③	5%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>昨年度に比べ、「そう思う」と答えた保護者が増加し、学校の教育方針や教育目標が広く周知された。一方、1～3年生の児童の数値が低い傾向にある。</p>
	評価項目	割合														
	①	50%														
	②	45%														
③	5%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	私は、学校教育目標を知っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>87%</td></tr> <tr><td>②</td><td>9%</td></tr> <tr><td>③</td><td>3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	87%	②	9%	③	3%	④	1%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <p>今後とも地域の回覧板やホームページを活用したり、保護者会や各行事の機会をとらえて、家庭・地域に説明していく。また低学年の児童に対しては、朝会や各行事のたびに繰り返し説明することで周知していく。</p>	
評価項目	割合															
①	87%															
②	9%															
③	3%															
④	1%															
⑤	0%															
保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>67%</td></tr> <tr><td>②</td><td>28%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	67%	②	28%	③	4%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>数字の増減にとらわれる必要はないが、昨年度と比較すると、教職員の「そう思う」が20ポイント低下し、また、地域の「そう思う」が14ポイント低下しているので、検証の必要がある。学校教育目標や教育方針の具現化については、尽きせぬ課題である。</p>	
評価項目	割合															
①	67%															
②	28%															
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>86%</td></tr> <tr><td>②</td><td>14%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	86%	②	14%	③	0%	④	0%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	86%															
②	14%															
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察								
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>35%</td></tr> <tr><td>②</td><td>65%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	35%	②	65%	③	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>わかりやすく工夫した授業を行っているかに対して肯定的に答えた児童は、昨年度と同様に高い数値となった。学び合い学習やチームティーチングを継続して行ってきた成果だといえる。</p>
	評価項目	割合										
	①	35%										
	②	65%										
③	0%											
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>77%</td></tr> <tr><td>②</td><td>20%</td></tr> <tr><td>③</td><td>2%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	77%	②	20%	③	2%	<p>課題解決への方策</p> <p>昨年度に引き続き、学校課題研究として取り組んだ「学び合い学習」を、本年度は国語科を中心に取り組み、特に本校児童の課題と捉えている「読む力」を伸ばすための経験を積み重ねてきた結果と考える。また、継続して、学校行事・学年行事などで、児童が発表する機会を意図的に設けていく。</p>	
評価項目	割合											
①	77%											
②	20%											
③	2%											
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍で今までとは違った気配りをしなければならぬ中で、児童評価の高さから、教員の熱心さと努力がうかがえる。しかし、児童の中にわずかではあるが、「あまりそう思わない」と感じている児童がいることを忘れずにこれからも取り組んでいくことが大切である。</p>									
地域												

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>例年と同様に、教職員の評価と児童の評価に差が見られる。教職員が求める望ましい態度がなかなか児童に伝わっていない現状がある。</p>
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>朝会や授業を通して、教職員が伝えたかったことは何だったか、振り返る時間を引き続き確保していく。発達段階に応じてどのくらい理解できたかその都度確認し、評価することで、教職員と児童の話を聞く意識、落ちついた態度で学習する意識を高めていく。</p>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>教職員のねらいとそれに対する児童の認識に差があるように感じられる。差を埋めるべく今後に期待する。</p>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>75% 80% 85% 90% 95% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察									
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>20%</td></tr> <tr><td>②</td><td>80%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	20%	②	80%	③	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、児童、保護者共に、例年同様高い評価を得ることができた。特に児童に関しては、肯定的回答がさらに増加し、問題が生じた時に全教職員で対応してきた成果が確実に表れているといえる。一方「⑤わからない・無答」と回答した保護者もあり、問題を早期に発見し情報共有することが課題である。</p>	
	評価項目	割合											
	①	20%											
	②	80%											
③	0%												
児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>86%</td></tr> <tr><td>②</td><td>13%</td></tr> <tr><td>③</td><td>1%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	86%	②	13%	③	1%	④	0%	<p>課題解決への方策</p> <p>些細な問題行動も見逃さずに、組織で共有して速やかに対応する。いじめは、大人の目の届かないところで行われることが多いため、抱え込まずにすぐに相談できることを児童に広く周知する。また、家庭との連携を密に行い、情報を共有しながら児童の問題行動に対処していく。</p>
評価項目	割合												
①	86%												
②	13%												
③	1%												
④	0%												
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>75%</td></tr> <tr><td>②</td><td>22%</td></tr> <tr><td>③</td><td>2%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	75%	②	22%	③	2%	④	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>数字の増減にとらわれる必要はないが、昨年度と比較すると、教職員の「そう思う」が60ポイント低下しているため、検証の必要あり。児童の中にもわづかではあるが、「あまりそう思わない」と感じている児童がいることを忘れずにこれからも取り組んでいくことが大切である。教員の目の行き届かないところでいじめが発生している可能性も考えられるので、保護者からの相談や子供の学校での動向など注視いただきたい。信頼し相談のできる先生や大人がいることは子供たちにとっても保護者にとっても大切なことである。引き続き尽力願いたい。</p>
評価項目	割合												
①	75%												
②	22%												
③	2%												
④	1%												
地域													

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>「①そう思う」と回答する教職員と児童の数値には差がある。9割以上の教職員、児童、保護者が肯定的な回答をしているが、学校の決まりを指導しきれていないと感じる教職員と、守れていないと自覚している児童が一定数いることが課題である。</p>
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校の決まりについて、教職員が同一歩調で指導にあたることが大切である。また、児童の意識に違いがあるため、家庭とも連携しながら、学級指導や全体指導で粘り強く指導し続けていく。</p>
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>特になし。</p>
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>75% 80% 85% 90% 95% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p>

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<p>10% 75% 10% 5%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>児童の肯定的回答は昨年度より減少したがそれでも80%を超えている。「すすんで」というのは難しいが、あいさつに対する意識は、日頃の指導や「あいさつ運動」等で高まっているといえる。コロナ禍で地域の方の取り組みが減ってしまい、あいさつのよさを感じる機会が少なくなってしまったのは残念である。</p>
	児童	私は、すすんであいさつをしている。	<p>45% 37% 14% 2%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校・家庭・地域が手本となってあいさつを行うことを、機会があるごとにお願ひしてきたので、引き続き行っていきたい。また「あいさつ運動」のように児童が主体となってあいさつすることのよさを感じられるような取組みを計画的に設定する。</p>
	保護者	児童は、家族や近所の人ですすんであいさつをしている。	<p>32% 38% 23% 7%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>数字の増減にとらわれる必要はないが、昨年度と比較すると、教職員の肯定的評価が19ポイント向上している。しかし、地域の「そう思う」が61ポイント低下している。検証の必要がある。地域の方への挨拶は難しいと思うが、保護者が近所の方に挨拶できるように進めていただきたい。</p>
	地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>29% 57% 14% 0%</p>	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>日頃の登下校指導や交通安全教室、防犯教室、避難訓練を通して指導を計画的に行ったことにより、9割以上の児童、保護者が肯定的回答をした。一方、安全対策に不安を感じている児童、保護者もいるため、対策をしていく必要がある。</p>
	児童	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>警察や保護者、地域の方々のご理解とご協力を得ながら、学校の実情に沿った安全対策を見直していく必要がある。また、児童に対しては発達段階に応じた安全指導を繰り返し行っていく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>交通事故や不審者など登校時の安全対策については、地域の一員として見守りを継続していく。7%の児童が安全に登校できていないと思っていることが心配である。何に対して安心安全と思えないのかを聞き取り、不安を取り除けるよう努めていただきたい。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	



新町

小学校

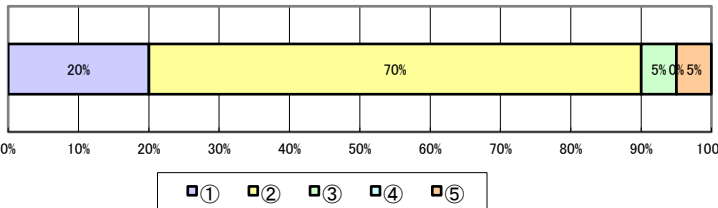
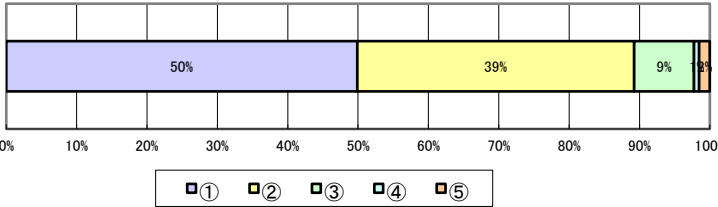
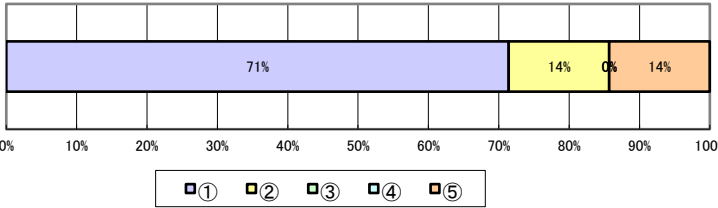
評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>35%</td></tr> <tr><td>②</td><td>65%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	35%	②	65%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>家庭・地域からは9割以上の肯定的回答を得られた。毎月発行している学校だよりが家庭・地域に根づいている成果といえる。また内容についても肯定的な感想を得られる機会があった。</p>
	評価項目	割合														
	①	35%														
	②	65%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <p>引き続き、身近な話題を家庭や地域に発信していくために学校だよりを定期的に発行する。自治会の回覧板も活用し、学校の教育方針や情報を知っていただく。一方、学校だよりの内容が家庭に浸透しないこともあったため、必要に応じて一斉メール配信やホームページのさらなる活用も必要である。</p>													
保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>63%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	63%	②	32%	③	4%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>特になし。</p>	
評価項目	割合															
①	63%															
②	32%															
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>71%</td></tr> <tr><td>②</td><td>29%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	71%	②	29%	③	0%	④	0%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	71%															
②	29%															
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>コロナ禍で教育活動に制限がある中、登校指導や、1年生給食補助、校外学習補助、新町っ子マラソン補助等で保護者・地域住民の協力をいただいた。社会の情勢と共に教育活動も変化する中で、学校応援団をはじめとする様々な方に協力をいただく必要がある。</p>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <p>コロナ禍の教育活動の様子や学校応援団の活躍を広く周知する。また、家庭・地域と連携しながら、学校応援団の募集を継続して行う。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>地域の「そう思う」が31ポイント向上している。地域の人的資源は豊富である。学校に注目してくれる取り組みに地域としても協力したい。地域活動の中で子供たちとほとんど交流できなかったことが残念である。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>25% 65% 10% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>清掃活動や掲示教育については、昨年度同様概ね良好な評価を得ている。「①そう思う」と回答した児童も多く、児童会を中心に主体的に掃除をする取り組みもあり、しっかりと清掃活動を行おうとする意識が向上したといえる。</p>
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>64% 30% 6% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>清掃活動中に教職員が児童を褒めながら指導に回り、児童に自信と学校に対する愛着を持たせるようにする。掲示教育に関しては、児童を大切にされた作品掲示や、季節に配慮した掲示を引き続き行っていく。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>61% 37% 2% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>体育館の演台の修繕に感謝する。ただし、体育館の設備全般に修理・修繕の必要性を感じている。特に事故につながるような修繕箇所は、市教委とも連携し早急に進めていただきたい。</p>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>71% 29% 0% 0%</p>	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革 ⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>コロナ禍で例年の業務と比較することは難しいが、日常の業務は非常に多いと感じていて、改善が必要と感じている職員が多いことがわかる。</p>
	児童		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>今年度から、教職員の中から業務改善推進委員会を立ち上げた。日常業務の精選や改善の検討を進めるのと同時に、これまでの当たり前のことにも目を向け、思考の転換を図り業務の効率化にも着手していきたい。</p>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍における教員の業務負担が増している。教員の児童と関わる時間が少しでも長くなるよう引き続き業務の効率化及び業務改善に努めていただきたい。教職員の元気が児童の元気につながるため、積極的な業務改善に期待する。</p>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	